

## 平成 30 年 伴走型小規模事業者支援推進事業

# 地域経済動向調査まとめ

平成 30 年 9 月値（平成 30 年 11 月 15 日発行）

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域の経済動向が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。事業活動の参考にしていただければ幸いです。

### 調査データ出先

調査名（実施機関）	調査対象	調査対象期
西播磨地域景況調査（西播磨県民局）	管内中小企業者等 4 業種 141 社	平成 30 年 7 月～9 月期
兵庫県の経済雇用情勢（兵庫県）	兵庫県の中小企業	平成 30 年 7 月～9 月期
小規模景気動向調査（全国商工会連合会）	全国約 300 商工会による調査	平成 30 年 9 月期
たつの市中小企業景況調査（たつの市商工会）	管内 27 事業所	平成 30 年 7 月～9 月期

たつの市商工会

# 目次

I 産業全体の業況の推移

II 調査範囲別景気動向

III 業種別経済状況

① 製造業

② 建設業

③ 小売業

④ サービス業

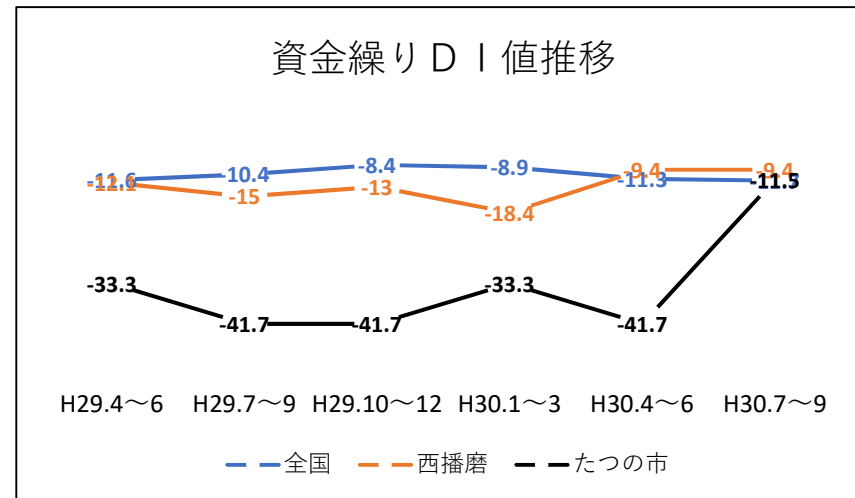
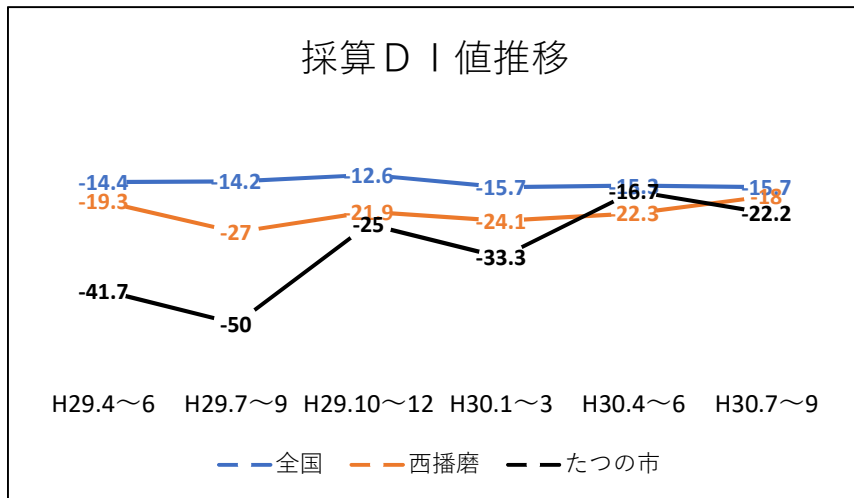
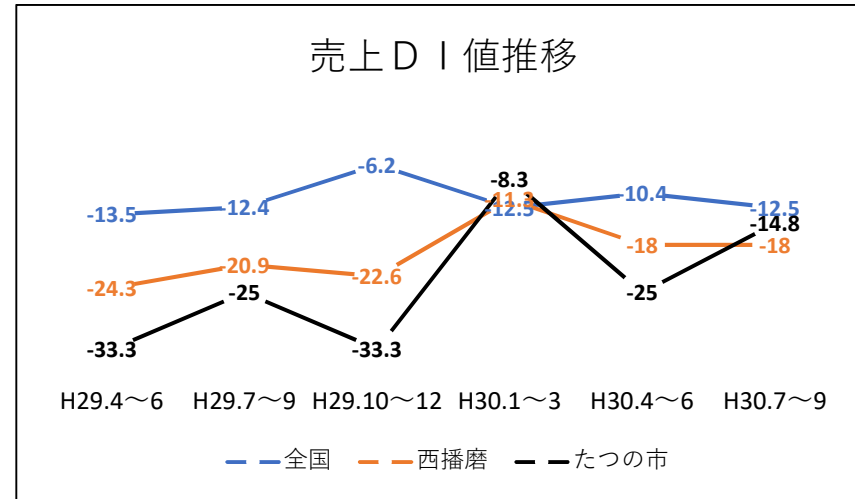
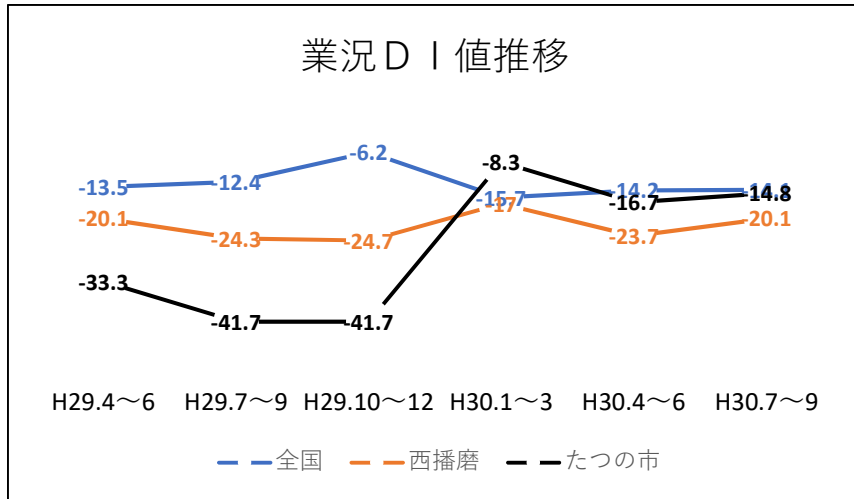
⑤ 業種別 D I 値比較

V 雇用状況

VI 西播磨管内の企業倒産件数及び負債金総額

VII 総括

I 産業全体の業況の推移 <DI値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す>



### <概要>

前回調査時と比較すると、全国の業況DI値は横ばい傾向であるが、西播磨、たつの市では若干改善している。たつの市では前回調査時は売上高が下落したものの、今回調査期間では資金繰りとともに改善している。一方採算状況はたつの市では若干下落しているが、全国、西播磨はほぼ横ばいである。

## II 調査範囲別景気動向

### <全国>

- ・相次ぐ自然災害が原材料の調達や商品の入荷の停滞、観光客の減少などに影響を与えている。また人手不足や原材料高、貿易問題などが受注に影響を与え、停滞傾向から悪化に転じている。

### <兵庫県>

- ・県内景気は、一部に台風などの天候の影響がみられるものの、緩やかに拡大している。輸出は増加基調にあり、公共投資は下げ止まりつつある。個人消費は台風などの天候の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。こうした需要動向を映じて、生産は増加基調にある。また、労働需給は引き締まっている。雇用者所得は緩やかに増加している。こうした中、9月短観における管内企業の景況感（全産業）は足もと悪化した。先行きは改善する見通し。

### <西播磨>

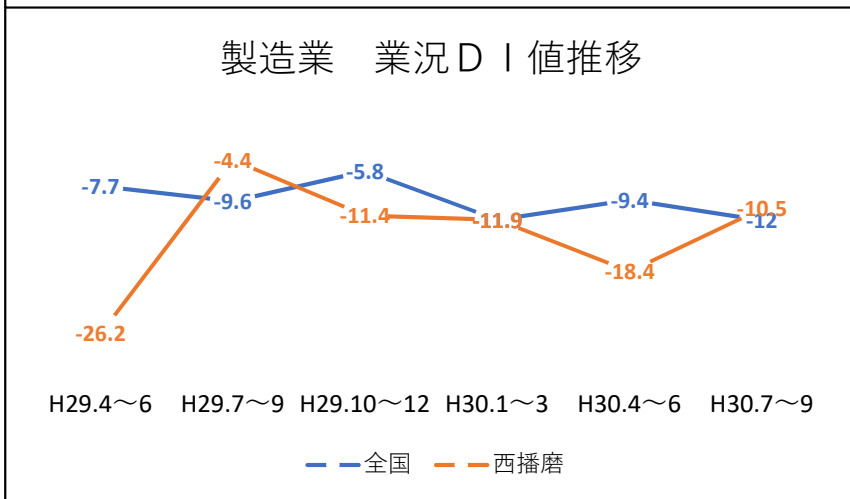
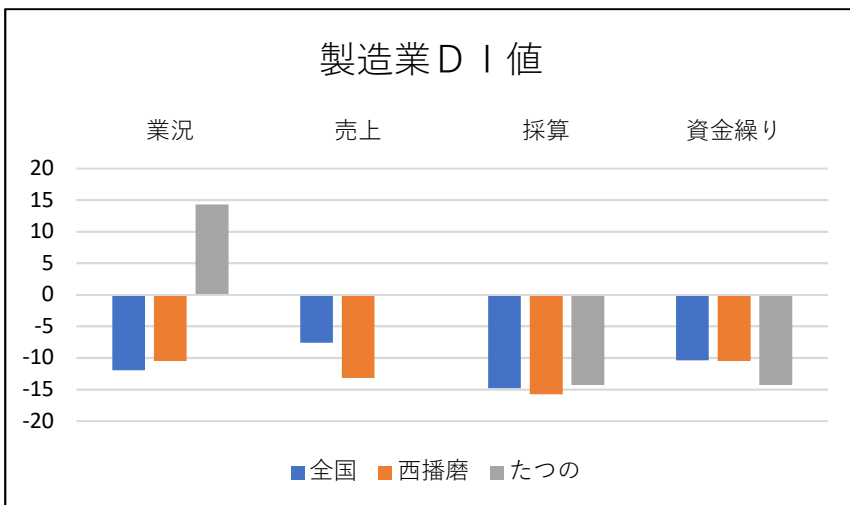
- ・DI値は全体的に横ばいである。前回調査より業況、採算は若干改善しているが、売上、資金繰りは横ばいである。

### <たつの市>

- ・業況のDI値は△14.8であり、前回から若干「好転」している。売上、資金繰りは改善しているが、採算状況は悪化しており、全国、西播磨の指標を下回っている。

### Ⅲ 業種別経済状況

#### ① 製造業



#### <全国>

全国的には業況 D I 値はわずかに下落している。機械・金属関係は引き続き受注は多い。猛暑が終わり、一部の食料品製造業が回復しつつある。輸出関連では、金属製品製造業、工作機械製造業、自動車部品製造業を中心に受注が好調である。

#### <兵庫県>

半導体関係については生産ラインの自動化や電気自動車の普及等により、今後も需要拡大が見込まれるが、人員の体制上対応できる量が限られており、売上は横ばいである。また電気機械メーカーにおいても技術職が不足しており受注拡大を図る上で支障となっている。

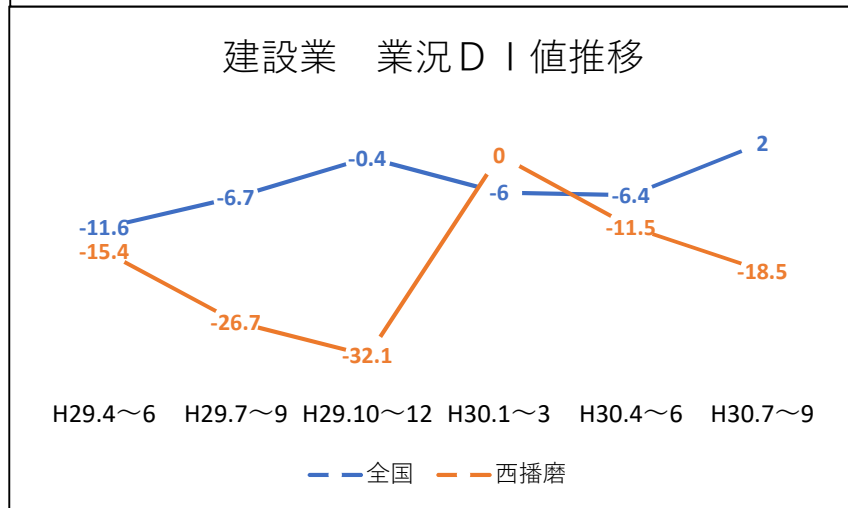
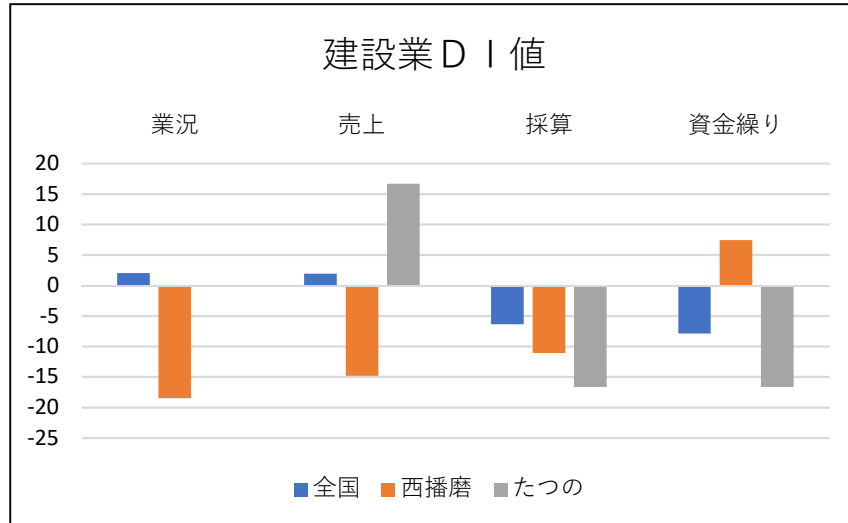
#### <西播磨>

業況 D I 値は前回調査時と比較してに 7.9 ポイント改善している。売上を除き、全国より D I 値が下回っている。

#### <たつの市>

業況は「悪化」を「回復」が上回り、一部の下請事業所で受注が増えている。

## ② 建設業



### <全国>

DI 値は前回調査と比較して回復し、プラスに転じた。災害工事の復旧工事などで工事需要が増している。公共工事は小規模な公共工事が多い傾向にある。

災害復興工事では県をまたいでの競争、人材の採用競争が発生し、受注や採算に影響がでている。

### <兵庫県>

兵庫県の公共工事請負金額は、平成 30 年 7 月期で前年比 +10.8%、8 月期で前年比△0.7%である。

### <西播磨>

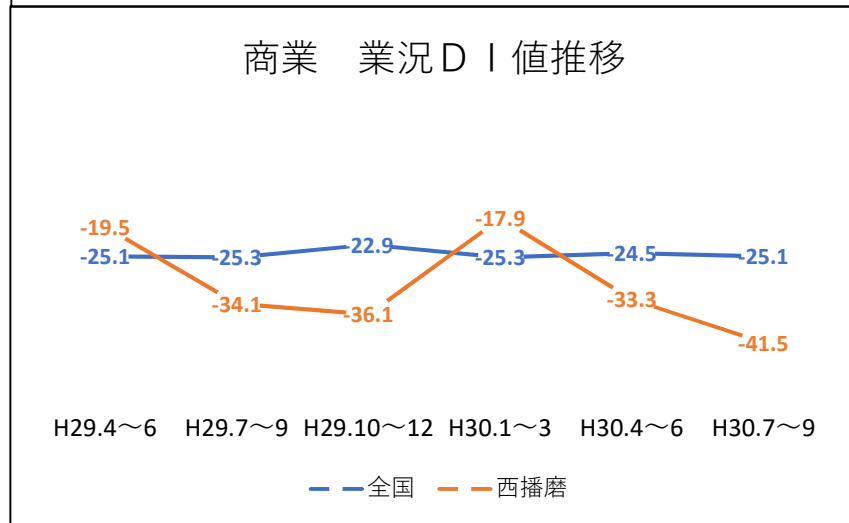
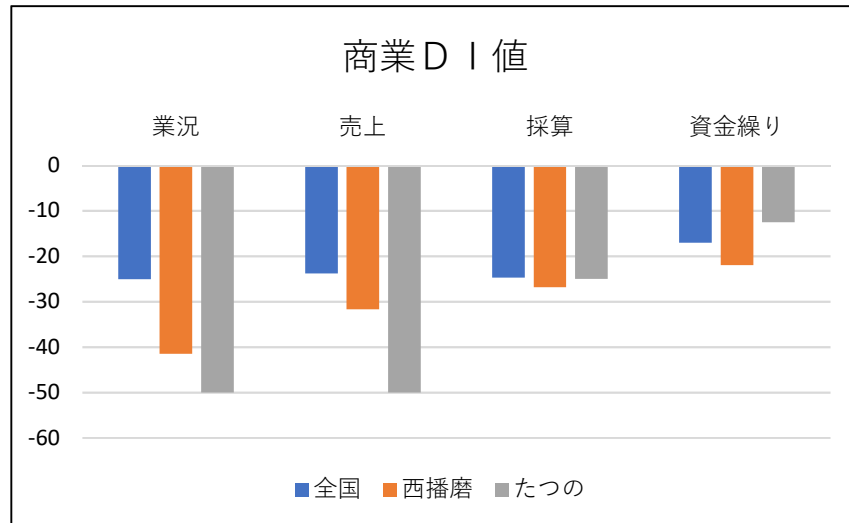
DI 値は前回調査時と比較して△7%であった。

業況、売上、採算はいずれも全国の値を下回ったが、資金繰りは上回っている。7 月の公共工事請負額は前年比 76.0%増、8 月の公共工事請負額は前年比 47.9%減と月次で大きく上下している。

### <たつの市>

業況は均衡しているが、売上については全国、西播磨を上回っている。一方で、採算、資金繰りは全国、西播磨と比較して良くない。

### ③ 商業



#### <全国>

台風等の天候不良により、野菜、乳製品の品薄が続き、売上が減少している。

#### <兵庫県>

県内百貨店によると、足元の景況感は少しずつ改善している。天候不良等による休業もあり来店客数は3%程度減少したが、インバウンド客を中心に腕時計等の高額商品の売れ行きが堅調で消費単価が上昇、売上は前年並みとなった。衣料品についても、婦人服全体では単価が上がっており、働く女性の消費意欲が比較的強い。

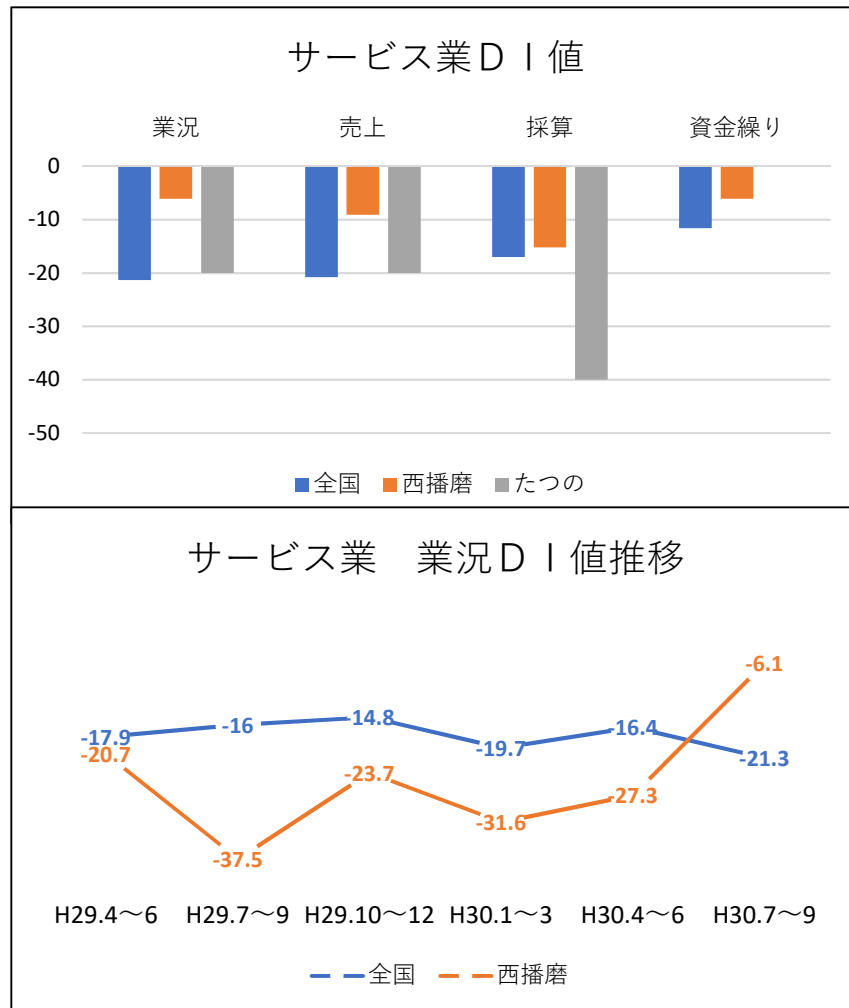
#### <西播磨>

業況 D I 値は前回調査時と比較して△33.3 から△41.5 に 8.2 ポイント悪化しており、1 月以降は連続で悪化している。

#### <たつの市>

全ての指標で悪いが良いを上回り特に、業況、売上が厳しい状況である。

#### ④ サービス業



##### <全国>

夏の観光シーズンから秋の行楽シーズンに移行し、集客が持ち直している地域があるものの、台風、北海道地域で発生した地震、豪雨の影響により全国的に停滞感がある。

##### <兵庫県>

県内旅館業者によると、予約状況も良く順調に推移していたが、台風 21 号で関空が被害を受け訪日外国人の予約キャンセルが生じたことで、売上は前年度並みとなった。

その後は、関空の早期復旧により予約状況も回復基調にあり、先行きの景況感が良い。

##### <西播磨>

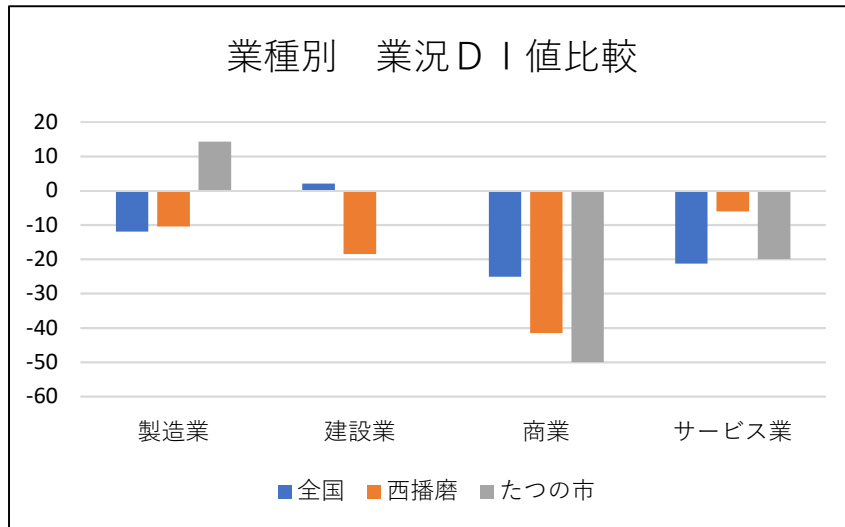
業況 D I 値は前回調査時と比較して $\Delta 27.3$ から $\Delta 6.1$ に 21.2 ポイント改善している。業況は、全国より悪い水準で推移していたが、今期は大幅に改善し、全国を上回った。

##### <たつの市>

すべての調査項目で悪化しており、特に採算が悪く、利益の確保に苦心している。



### ⑤ 業種別 D I 値比較

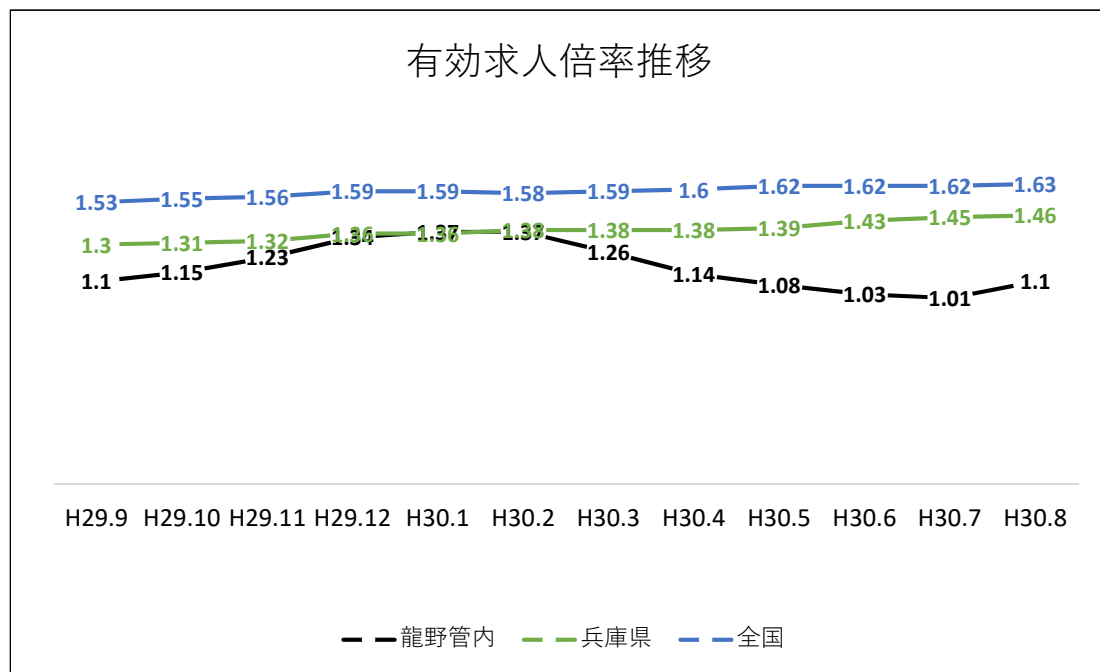


製造業は全国、西播磨での景況はマイナスであるが、たつの市では、好況が不況を上回っており、一部の下請け事業所での受注が好調であることがうかがえる。

商業、サービス業については全国、西播磨、たつの市のいずれも不況を示しており、特に商業の D I 値が悪い。

## V 雇用状況

平成30年8月期の有効求人倍率は、全国1.63倍、兵庫県1.46倍、龍野管内1.1倍となっており、全国、兵庫県、龍野管内すべての地域で人手不足感が増した。特に製造業、建設業での不足感が強く、今後もこの傾向が続くことが予想される。この1年の推移では、昨年8月までは1倍を切り充足感があったが、9月以降1倍を超え、その後続いて人手不足感が強かったが、本年2月より下降していたところ今回の調査時から再び上昇に転じ不足感が強まった。全国の倍率は半年以上上昇傾向で、変わらず人手不足感が強い。



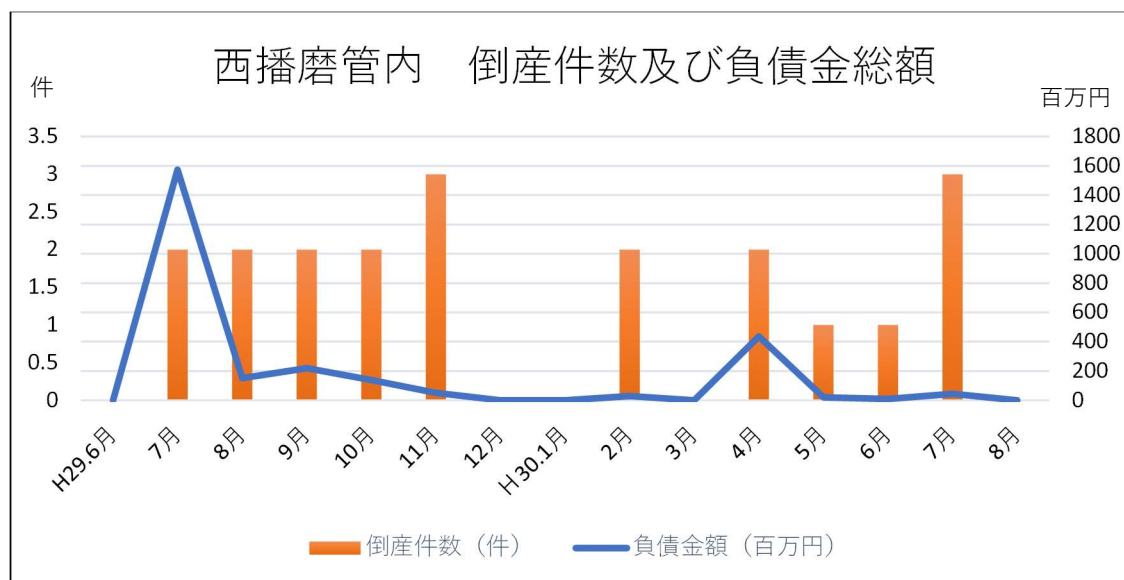
有効求人倍率 : 求人数 ÷ 求職者数 (例 仕事20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

## VI 西播磨管内の倒産件数及び負債金額総額

西播磨の倒産件数は本年1月以降2月、4月に2件、5月、6月に1件であったが、7月に昨年11月以来3件の件数であった。

兵庫県下の倒産件数は、平成30年6月期33件、7月期33件、8月期30件となっており、前年を下回る水準であったが、8月期の負債総額は、67億83百万円（対前年同月比252.9%増）となり1件当たりの負債総額は大幅に増えた。

全国的な傾向として、大規模事業所の倒産件数は減少しているが、中小企業の倒産件数は減っていない。倒産事業所の負債総額も減少しているが、中小企業による小規模倒産は増加傾向である。



## Ⅶ 総括

全国的な業況は若干悪化している。相次ぐ台風や北海道胆振東部地震などの自然災害により原材料の調達や商品入荷の停滞や観光客の来訪に支障を来すなどの深刻な被害を来した。また人手不足や原材料高、貿易問題による受注の影響もあり、停滞傾向から悪化に転じた。

たつの市の業況判断DI値は平成29年末までは全国、西播磨の水準を下回っていたが、平成30年以降は全国と同等の水準となっているが、いずれも西播磨の水準を上回っている。これは姫路市を除く西播磨地域では、たつの市は山陽道幹線沿いであるため、山間部の地域より若干数値が良好であるためと推測される。売上、資金繰りについては前回より改善したが、採算は悪化した。また採算については全国、西播磨の数値を下回った。

業種別では、商業、サービス業、建設業、製造業の順で業況が悪く、前回調査時と比較して製造業、建設業の順位が入れ替わった。製造業については原材料高や人件費高の影響があるものの、一部の元請け事業者の業績が好調であり業況は良好であるが、採算、資金繰りは厳しい。建設業については全国的には業況は回復しているものの、西播磨の業況は低下傾向である。たつの市については、全国同様景況は回復傾向であるが、資材高、人手不足の影響から採算、資金繰りは良くない。商業、サービス業では、業況、売上の数値が悪く、利益確保に苦心しており、地方に行くほどこの傾向は顕著である。

今後の見通しは、自然災害からの復興活動や、生産の回復から製造業では横ばいで推移するが、商業、サービス業では引き続き厳しい状況が続くと思われる。建設業では、資材難、人材難による工事停滞が懸念されるものの、都市圏では変わらず需要が見込め、地方においても一定の公共工事で横ばいでの推移が見込める。

雇用状況は、全国の場合よりは指標は良好であるが、龍野管内でも引き締まりに転じ、引き続き製造業、建設業を中心に人手不足感が強い。

以上